

福岡銃剣連第 43 号

令和 4 年 3 月 4 日

各支部長 様

各部隊長 様

福岡県銃剣道連盟

会長 青木 泰



第 66 回全日本銃剣道優勝大会の開催について(連絡)

標記について、別紙「第 66 回全日本銃剣道優勝大会要項」に基づき開催されますので添付の「参加申込書」により申込下さいますようお願い致します。

記

添付書類：別紙「第 66 回全日本銃剣道優勝大会参加申込関係書類」

- ※ 参加申込は県連盟より一括申込となっておりますので、県連盟事務局まで申込下さい。3 月 18 日(金)必着でお願いします (e-mail、FAX 可)。
- ※ 大会参加費は、申込と同時に下記口座へ振り込みをお願いします。
- ※ 令和 3 年度の年会費を納入されていない方を選手・監督として申込まれる場合は令和 3 年度年会費を下記口座へ振り込みをお願いします。
- ※ 大会参加費、年会費の振込みが確認できない場合は大会へ参加できませんのでご了承ください。
- ※ 振込みの際、「振替受入明細票」は不要です。

大会参加費等振込先

振込先(郵便局)	郵便局以外の金融機関から振込む場合
福岡県銃剣道連盟	預金種目 普通預金
	店 番 7 4 8
記 号 1 7 4 7 0 - 3	店 名 七四八
口座番号 4 3 6 4 0 1	口座番号 0 0 4 3 6 4 0

事務局

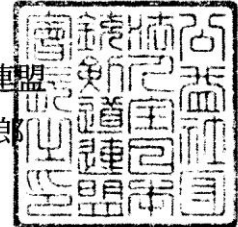
〒818-0066 筑紫野市永岡537-5 水上清則

携帯 090-8354-6921 FAX 092-925-3451

e-mail mizukami@yknk.info

各都道府県銃剣道連盟会長 殿

公益社団法人 全日本銃剣道連盟
会 長 番 匠 幸 一 郎



第 66 回全日本銃剣道優勝大会の開催について

標記の大会を別紙要項のとおり開催いたすことになりました。

つきましては、貴連盟からご派遣いただきたくお願い申し上げます。

原則的に最終選手変更締切日（4月5日）現在で参加申込をしているチームは、中止または延期となった場合を除き、不参加でも参加料請求対象とさせていただきます。

また、同封の参加申込書類に添付しております本大会新型コロナウイルス感染防止ガイドラインに基づき、別紙「健康観察票」を入場者すべてにご提出いただくこととしております。恐れ入りますが、各チームで「健康観察票」用紙を必要数コピーしていただき、選手・監督・チーム関係者すべての入場者が大会当日必ずご持参いただくことをご周知ください。大会当日ご持参いただけなかった者は入場をお断りします。選手の場合は大会出場もご辞退いただきますのでご承知おきください。

なお、新型コロナウイルス感染拡大状況により、開催することが困難と判断される場合は、令和2・3年度同様に中止または延期とする場合がありますことをご了承ください。

同 封 書 類

- 第 66 回全日本銃剣道優勝大会参加申込関係書類（63 回大会出場実績数）

第66回全日本銃剣道優勝大会 参加申込関係書類

－ 参加申込にあたっての注意事項 －

- 1 大会要項を熟読のうえ、参加年齢区分に留意して添付の参加申込書にてお申込み下さい。
- 2 締切は3月25日（金）必着でお願いいたします。
- 3 申込後の選手変更は4月5日（火）までです。変更がある場合は添付の変更届書をFAXまたはE-Mail（jimukyoku@jukendo.info）でご提出ください。
変更締め切り日以降、怪我・病気等により変更せざるを得ない場合は大会当日選手変更受付にて手続きをしてください。
- 4 大会参加にあたっては、別紙「大会参加における注意事項について」「大会新型コロナウイルス感染防止ガイドライン」を熟読して参加してください。

添 付 書 類

- 1 第66回全日本銃剣道優勝大会次第
- 2 第66回全日本銃剣道優勝大会要項
- 3 大会参加申込用紙（防衛省第1部）
- 4 大会参加における注意事項について
- 5 大会参加チーム利用車両台数調査票
- 6 選手変更届出書
- 7 大会新型コロナウイルス感染防止ガイドライン

お問い合わせ
公益社団法人全日本銃剣道連盟 事務局
〒102-0091
東京都千代田区北の丸公園 2-3 日本武道館内
TEL 03-6910-0707
FAX 03-6910-0708
E-Mail jimukyoku@jukendo.info

第66回全日本銃剣道優勝大会次第

- 9：30～ 9：55 開 会 式
- (1) 役員・選手整列
 - (2) 開会宣言
 - (3) 国歌演奏
 - (4) 大会会長挨拶
 - (5) 優勝旗返還
 - (6) 来賓祝辞
 - (7) 祝電披露
 - (8) 審判長注意
 - (9) 選手宣誓
 - (10) 選手退場
- 9：55～10：15 試 合 場 準 備
- 10：15～17：40 試 合（試合順は組合せ表に示すとおり）
- 17：40～18：00 表 彰 準 備
- 18：00～18：30 閉 会 式
- (1) 役員・選手整列
 - (2) 成績発表（受賞選手整列）
 - (3) 表 彰
 - (4) 大会委員長挨拶
 - (5) 閉 会

第66回全日本銃剣道優勝大会要項

- 1 日 時 令和4年4月24日（日）午前8時開館（受付開始）午前9時30分開会
- 2 会 場 日本武道館（東京都千代田区北の丸公園2番3号）
- 3 主 催 公益社団法人 全日本銃剣道連盟

4 開催の趣旨

銃剣道を錬磨している連盟会員に対して、試合競技の機会を与え、心身の健全な発達と技倆の向上及び斯道の発展拡大を図る。

5 出場選手・監督資格

選手・監督は令和3年度全日本銃剣道連盟会費を納入している者で有段者とする。

6 試合区分

試合は次の部門で行い、すべて団体戦とする。

選手・監督は兼務することを認める。ただし、複数の試合部門に重複して出場することはできない。

(1) 一般の部

ア. 都道府県連盟・実業団・クラブ・道場・大学・高等学校ごとに選抜された選手3名・監督1名で編成されたチームとする。選手は高校生以上とし、年齢の上限は設けない。

イ. 成人選手は監督を兼務することができる。ただし、未成年選手3名で編成するチームは、成人の監督を必ずつけるものとする。

ウ. 同一チームは4チーム以内とする。

(2) 防衛省第1部

ア. 陸上自衛隊の普通科連隊、特科連隊（方面特科連隊含む）、特科群、戦車連隊、戦車群、施設群、特科教導隊、即応機動連隊、特科教導隊、空挺団、機甲教導連隊とし、各部隊の予選を経て選抜された選手5名と監督1名で編成されたチームとする。

イ. 選手と監督を兼務することができる。

ウ. 出場チーム数は1チームとし、チーム名は部隊名とする。

(3) 防衛省第2部

ア. 海上自衛隊、航空自衛隊及びア項の第1部に出場する部隊以外の陸上自衛隊で各基地（分屯基地）・駐屯地（分屯地）及び各地方協力本部ごとに予選を経て選抜された選手5名・監督1名で編成されたチームとする。

イ. コア連隊が属している駐屯地で、当該部隊がア項の第1部に出場しない場合、コア連隊所属の選手を2名まで出場させることができる。

ウ. 出場チーム数は当連盟が認定する駐屯地・基地以外は1チームとし、チーム名は駐屯地・基地または分屯地・分屯基地及び各地方協力本部名とする。

(4) 女子の部

ア. 都道府県連盟・実業団・クラブ・道場・大学・高等学校ごとに選抜された選手3名・監督1名で編成されたチームとする。選手は高校生以上とし、年齢の上限は設けない。

イ. 成人選手は監督を兼務することができる。ただし、未成年選手3名で編成するチームは、成人の監督を必ず専任させるものとする。

ウ. 出場チーム数の上限は設けない。

7 参加申込

(1) 申込要領

各チームは出場する区分の申込用紙（別紙）に必要事項を記入して各都道府県連盟に提出する。各都道府県連盟は、申込選手・監督連盟登録者（前年度会費納入者）である承認を行い、代表者印を押印のうえ、一括して書留郵便で全日本銃剣道連盟事務局まで送付すること。（押印の無い申込書は受け付けない）

(2) 申込締切期日 3月25日（金）必着

(3) 選手変更

申込締切後、選手を変更する場合は4月5日（火）までに選手変更届を提出すること。その後に病気・怪我等の理由により選手を変更する場合は医師の診断書を添えて大会当日開会式終了までに選手変更届を提出し、承認を受けること。

(4) 大会参加料及び納入方法

ア. 大会参加料 監督、選手1名につき3,000円。

イ. 選手変更締切日現在で申込みをしているチームは、大会当日の出欠場に係わらず参加料を請求対象とする。また、納入後は参加の有無に係わらず参加料の返還は行わない。

ウ. 納入方法

参加申込チームは所属の都道府県連盟に納入し、各都道府県連盟は選手変更締切日以降、全銃剣連からの大会参加料請求書が到着次第「郵便振替」により直ちに納入すること。

8 表彰区分 試合区分ごとに優勝、準優勝、第3位(2チーム)を表彰する。

9 宿舎の斡旋 宿舎は別紙案内による。

10 大会試合・審判規則及び試合方法

(1) 「銃剣道試合・審判規則及び細則」並びに本大会試合規則により勝敗を決定する。

(2) 試合は各部門それぞれトーナメント方式で行う。ただし、参加チーム数により1回戦をリーグ戦とする場合がある。

(3) 試合は3本勝負とし、試合時間は3分とする。試合時間内に勝負が決しない場合は判定により勝敗を決し、勝者数の多いチームを勝ちとする。リーグ戦における順位の方法は別に定める。

(4) 審判員は本連盟のA級審判員のうち指名された者とし、主審1名、副審2名をもって組織する。審判員の服装は「銃剣道試合・審判規則及び細則」第31条によるものとする。

(5) 相手の木銃を故意に打ち払って落とそうとする行為は、反則とする。故意とする基準は、相手が片手で木銃を持つ状態となつてから2回以上打ち払う動作を行うことを基準とする。

(6) 場外反則の基準は、原則的に場外に両足が着地した状態を基準とする。ただし、片足が浮いた状態で場外に出た場合、瞬時に片足を場内に戻すことができないほど試合場の区画線と場外に出た選手の体に距離があると判断される場合は、両足が着地していなくても場外反則とする。

(7) 銃剣道試合・審判規則第19条11項の接近状態の10秒の開始は双方の小手が触れ合う程度の間合いとし、解除は双方の木銃の交差が10cm(基本の間合い)まで離れた状態とする。

11 参加上の注意

(1) 試合者の服装は「銃剣道試合・審判規則及び細則」第5条及び細則第4条のとおりとする。

道衣・袴の色は、チームで統一するものとし、称号・段位識別章を着用することを厳守すること。

(2) 各選手は垂の中央部に「銃剣道教則」別図-5の名札を縫着するものとする。

(3) 選手が相互の礼の際にプログラム記載の出場チーム名を記した名札及び段位識別章を着用していない場合は不戦負けとすることがある。

(4) 木銃は「銃剣道教則」別図-2を基準とする長木銃とし、突起部から40cmの位置とそこから20cmの位置に幅1cmの白テープまたは白の塗料で左手の握り幅の表示をした木銃を使用するものとする。その際は幅1cmの白テープまたは白の塗料の外側から外側が20cmとなるように表示すること。

(5) 前項で示す握り部位置表示または木銃の床底キャップ装着目的以外でテープ等を巻いた木銃及び異形の用具等は使用できない。

(6) 各チームの監督はその責任を明確にするため、全日本銃剣道連盟が配布する監督章を着装すること。監督を選手が兼務する場合は、配布の監督章を試合場に持参すること。

(7) 道場内での運動靴、サポーター、足袋等の使用を禁止する。ただし特別な事情がある場合は、審判長の承認によりサポーター、足袋等を使用することができる。

(8) 日本武道館内通路の裸足歩行を禁止する。

(9) 試合は、組合せ番号の若いチームを赤、番号の大きいチームを白とし、選手は各チームで準備する当該色のタスキを試合時に着けること。

(10) 審判員は各自審判旗を持参し、使用すること。

(11) 申込後のオーダーの入替えを禁ずる。

(12) 参加者はできる限りスポーツ傷害保険に加入すること。

12 その他

(1) 大会当日午前8時30分より日本武道館第1小道場(柔道場)において審判会議、第2小道場(剣道場)において監督会議を行う。

(2) 組合せ抽選は主催者で行う。組合せに関する異議の申し立ては一切受け付けない。

(3) 新型コロナウイルス感染防止策は別に定める。

第66回全日本銃剣道優勝大会 参加申込書

【防衛省第1部】

県連盟名	銃剣道連盟	承認印
チーム責任者名	氏名	TEL(携帯)
チーム連絡先住所	〒	

チーム名	
------	--

順位	称号段位	ふりがな		年齢	生年月日	R3年度会費
		氏	名			
先鋒						納入済 未納
次鋒						納入済 未納
中堅						納入済 未納
副将						納入済 未納
大将						納入済 未納
監督						納入済 未納

【注 意】

- 1 申込書は3月22日(火)までに必着とし、申込後のオーダーの入替えを禁ずる。
- 2 チーム名は部隊名とし、正確に明記すること。
- 3 大会要項を熟読し、出場区分に注意すること。
- 4 連盟会費欄はどちらかを○で囲み、連盟会費未納者の大会出場は認めません。
(申込書に「納入」となっている場合でも県連盟の証明がない者は、未納入者とみなす場合があります)
- 5 参加申込み選手・監督の個人情報は本大会参加資格に関するものだけに使用し、他の目的には使用いたしません。

第66回全日本銃剣道優勝大会 参加申込書

【防衛省第2部】

県連盟名	銃剣道連盟	承認印
チーム責任者名	氏名	TEL(携帯)
チーム連絡先住所	〒	

チーム名	
------	--

順位	称号段位	ふりがな		年齢	生年月日	R3年度会費
		氏	名			
先鋒						納入済 未納
次鋒						納入済 未納
中堅						納入済 未納
副将						納入済 未納
大将						納入済 未納
監督						納入済 未納

【注 意】

- 1 申込書は3月22日(火)までに必着とし、申込後のオーダーの入替えを禁ずる。
- 2 チーム名は駐屯地・基地名とし、所属部隊名は正確に明記すること。
- 3 大会要項を熟読し、出場区分に注意すること。
- 4 連盟会費欄はどちらかを○で囲み、連盟会費未納者の大会出場は認めません。
(申込書に「納入」となっている場合でも県連盟の証明がない者は、未納入者とみなす場合があります)
- 5 参加申込み選手・監督の個人情報は本大会参加資格に関するものだけに使用し、他の目的には使用いたしません。

第66回全日本銃剣道優勝大会 参加申込書

【女子の部】

県連盟名	銃剣道連盟		承認印
チーム責任者名	氏名	TEL(携帯)	
チーム連絡先住所	〒		

チーム名	
------	--

順位	称号段位	ふりがな	年齢	生年月日	R3年度会費 (高校生除く)
		氏 名			
先鋒					納入済 未 納
中堅					納入済 未 納
大将					納入済 未 納
監督					納入済 未 納

【注 意】

- 1 申込書は3月22日(火)までに必着とし、申込後のオーダーの入替えを禁ずる。
- 2 チーム名は正確に明記すること。
- 3 連盟会費欄はどちらかを○で囲み、連盟会費未納者の大会出場は認めません。
(申込書に「納入」となっているも県連盟の証明がない者は、未納入者とみなす場合があります)
- 4 高校生等未成年選手3名で編成されたチームは、成人の監督を必ずつけてください。
- 5 参加申込み選手・監督の個人情報は本大会参加資格に関するこののみに使用し、他の目的には使用いたしません。

大会参加における注意事項について

(公社) 全日本銃剣道連盟

1 駐車場について

役員以外の方は日本武道館西側正面玄関前の有料駐車場を利用させていただきます。(駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。)

武道館周辺の路上または駐車場以外での駐車は固くお断りいたします。(発見次第呼び出し移動していただきます) 北側の武道館駐車場は役員・来賓・日本武道館職員専用です。

(駐車場開放時間は午前7時00分です。それ以前の駐車場開放待ちの車両渋滞は近隣住民の方の迷惑となるため、7時00分を目処に日本武道館にお来しくださいますようご協力をお願いいたします。駐車場空き待ちのための路上駐車は禁止されておりますので、満車の場合は待機せず、別駐車場を各自で確保するか、宿泊駐屯地等にご移動ください。)

2 入場について

大会当日は8時に開館いたします。入場時は必ず検温を受けてください。受付場所は、一般・女子・防衛省第1部は武道館西側正面玄関、防衛省第2部は南側玄関(正面に向かって右)で行います。

北側玄関は役員来賓専用の入口になりますのでチーム関係者等は入場できません。開館後はウォーミングアップのため、大道場及び新設の中道場(南側)を開放します。用具は観覧席で着装し、道場へ移動をお願いします。開館時に用具を着装した状態での玄関からの入館を禁じます。

新設の中道場を利用する場合は、用具の着脱は一部に敷いてある畳上で行うようお願いいたします。

3 大会時のゴミについて

ゴミ箱の利用について日本武道館内のゴミ箱は武道館内売店、自動販売機で購入した飲食物の空き容器等のゴミ以外は捨てられないまたは分別の徹底等の規程があります。大会終了後に売上数から館内購入物のゴミであるか、分別されているか等厳しいゴミの検査があり、館内購入品以外のゴミ、分別されていないゴミがあると清掃料金を支払わなければなりません。連盟といたしましては各チームにゴミ袋を配布いたしますが、各チームゴミ箱等用意していただいて、館内購入品でもゴミはすべてお持ち帰りいただきますようご協力をお願いいたします。近年、試合場周辺や観覧席下等にゴミ(特にペットボトル、お茶等のパック、弁当空き箱)を放置したままのチームが多数見受けられます。

また、過去大会において、近郊駐屯地より持ちこまれた弁当の空箱がかなり放置され、かなりの清掃料負担となるとともに、日本武道館からも嚴重注意を受けました。

特に、自衛官チームで所属の駐屯地または宿泊駐屯地から弁当が支給されて持ち込む場合や一般チームで宿泊先ホテル等で弁当を注文して持ちこむ場合は清掃料負担の対象になりますので必ず弁当のゴミはお持ち帰りください。このようなことが多発した場合、来年度大会参加料の値上げをせざるを得ません。このような行為が絶対にならないようお帰りの際は試合場周辺、観覧席等ゴミの確認をしてください。

4 その他

- (1) 武道館大道場外の通路での用具等の放置、敷物等を敷いての選手の待機禁止。
- (2) 団体戦時におけるプログラム掲載の当該チーム選手・監督以外の試合場周りでの応援禁止。
- (3) 大道場内での用具の整頓の厳守及び試合待機時の試合場周辺での観戦は着座すること。
- (4) 喫煙場所での喫煙厳守(喫煙場所はプログラムに掲載の別図のとおりです。それ以外の場所での喫煙は携帯灰皿等使用しても禁止です)
- (5) 通路の裸足歩行禁止
- (6) バッテリー充電等コンセントの使用禁止
- (7) 練習場以外での練習禁止
- (8) 忘れ物、盗難注意
- (9) 日本武道館内の進入禁止の柵または手すり、階段等に道着等の衣類の物干し厳禁
- (10) 開館前に武道館周辺(北の丸公園含む)の歩道に座り込んでのストレッチ、声を出してのランニング等は近隣の居住者・公園利用者の迷惑・感染症防止のため、固くお断りいたします。
- (11) 新設の「中道場」を利用する際は、床面で腰を下ろさないように願います。また、壁などに手を触れたり、もたれるような行為は控えてください。(色が壁に付く場合があります)
- (12) 新型コロナウイルス感染防止ガイドラインをよくご確認し、感染対策を徹底してください。
- (13) その他注意事項は大会当日の監督会議で申し伝えます。注意事項が守れていないチームを発見した場合は以後の大会出場をお断りする場合がありますのでご了承ください。

令和4年2月25日

第66回全日本銃剣道優勝大会 利用車両の調査票提出について

(公社) 全日本銃剣道連盟

標記について、参加チームが来場時に利用する車両は、会場駐車場に駐車していただく予定ですが、大型車が駐車できる台数に限りがあります。以前の日本武道館開催時の際は、大変混雑をきたし、北の丸公園管理事務所をはじめ、各方面から注意・指導を受けましたので、各チーム最低限の台数の車両利用に努めていただきたくご協力をお願いいたします。

つきましては、事前に大会参加チームの利用台数を調査いたしたく存じますので、下記のとおり「利用車両台数調査票」を、参加申込書とともに必ずご提出ください。

利用台数が過多の場合は駐車券等を発行して、利用台数の制限をすることにいたします。
駐車券等を発行する場合は、4月10日までに各チームに直接送付いたします。

記

調査票記載に関する留意事項

- (1) 複数部門に出場するチーム（例：防衛省第1部・女子等複数に出場するチーム）は、利用台数をまとめて総数を記載してご提出ください。その際は複数当該参加区分を○で囲んでください。
- (2) 公共交通機関を利用して来場するチームで、車両利用のないチームも「利用しない」にチェックしてご提出ください。
- (3) 車両責任者は当日会場に来場する方（監督など）を記載してください。

以上

選手変更届書

令和 年 月 日

区分 _____ 試合場 第 試合場 _____

チーム名		責任者氏名				印
		変更	する	選手	手	
順位	申込選手		変更選手		変更する理由	変更選手 会費納入
	称号段位	氏名	称号段位	氏名 (生年月日)		
先鋒			()			納入済 未納
次鋒			()			納入済 未納
中堅			()			納入済 未納
副将			()			納入済 未納
大将			()			納入済 未納

上記のとおり選手の変更をいたします。

※会費納入欄はいずれかを○で囲んでください。

承認印

第 66 回全日本銃剣道優勝大会 新型コロナウイルス感染防止ガイドライン

(公社) 全日本銃剣道連盟

《はじめに》

本ガイドラインは、第 66 回全日本銃剣道優勝大会を開催するにあたり、新型コロナウイルスの感染を防止するため、大会参加者が遵守すべき基準及び留意点について、公益社団法人全日本銃剣道連盟の「稽古及び大会等の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」(令和 2 年 6 月 19 日) 及び公益財団法人日本スポーツ協会が発表した「スポーツイベント再開に向けたガイドライン」等に基づきまとめたものである。

なお、本ガイドラインは、現段階で得られている知見等に基づき作成しており、今後の知見の集積及び各地域の感染状況を踏まえて、見直すことがある。

《大会参加者の定義》

本大会における大会参加者とは、大会役員、来賓等、審判員、競技役員、選手、監督、引率者等をいう。

《大会の参加及び運営》

1. 大会参加者に本ガイドラインの内容を周知徹底する。
2. 大会参加者は本ガイドラインを遵守し、安心・安全な大会の運営に協力する。
3. 以下の事項に該当する大会参加者は、参加並びに出場することができない。
 - (1) 大会当日体調がすぐれない者 (例：発熱・咳・咽頭痛等の症状がある場合)
 - (2) 大会前 2 週間に以下の症状または事項に該当する者
 - ア. 平熱を超える発熱
 - イ. 咳、喉の痛み等、風邪の症状
 - ウ. だるさ (倦怠感)、息苦しさ (呼吸困難)
 - エ. 嗅覚や味覚の異常
 - オ. 体が重く感じる、疲れやすい等
 - カ. 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - キ. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ク. 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
 - ケ. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
4. 大会参加者は、別紙第 1 に示す健康観察記録を大会当日に提出する。主催者は個人情報の取り扱いに十分注意し、大会終了後 1 ヶ月以上保管する。
5. 日本武道館入口には、アルコール等の手指消毒剤を設置する。
6. 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル (使い捨て) を用意する。

7. 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽する。
8. 選手が試合を行う（面を着装している）際は、武道具店等が販売する面専用の「フェイスガード」等を使用するとともにマスクを着用する。審判員・競技役員も試合中はマスクを着用する。
9. 試合時の計時用ホイッスルは電動のものを使用する。
10. 更衣室、休憩・待機スペースでは、換気に配慮し、他の参加者と密になることを避ける。
11. 昼食時や休憩時のスペースで他の大会参加者と間隔を保つことが難しい場合、一度に入室等する数を制限する等の措置を講じる。
12. 指定された場所等以外の施設には立ち入らない。
13. 飲食物の提供時は、参加者が飲食物を手にする前に、手洗い・手指消毒を行うよう声を掛ける。
14. スポーツドリンク等の飲料は、ペットボトルや使い捨ての紙コップで提供する。
15. ゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛る。ゴミを回収する人は、マスクのほか手袋を着用する。手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒する。

《入場及び受付》

1. 本大会は原則無観客での開催とする。ただし、選手・監督以外で参加チームのサポート等を行う者を1チームにつき3名まで入場を認める。
2. 入場口にはアルコール等の手指消毒剤を設置し、大会参加者は手指消毒を行って入場する。
3. 大会参加者は、入場の際に主催者が行う検温を受ける。検温は非接触型体温計を使用する。測定の結果、37.5度以上体温がある者がいる場合、同名チームに所属する者全員を入場させない。
4. 混雑を極力避けるため、検温及び受付はスペースのある場所で行い、参加者が距離をおいて（できるだけ2メートルを目安に最低1メートル）並べるように目印の設置等を行う。また、受付場所を所属都道府県等で区分し、複数の個所で行う。
5. 大会参加者は、別紙の健康観察記録用紙を提出する。提出の無い者は入場させない。
6. 受付場所にはアクリル板、透明ビニールカーテンなどを設置する。

《会場内での留意事項》

1. 大会参加者は、会場内ではマスクを着用する。
2. こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
3. 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2メートルを目安に最低1メートル）を確保する。
4. 大声での会話・応援・指導等を行わない。
5. 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従う。
6. 飲みかけの飲料及び昼食弁当の空き箱等を会場内に放置せず、各チームで管理し、飲み切れなかったペットボトル等は持ち帰る。
7. 会場内の選手の密集を避けるため、選手は個人戦時6試合前、団体戦時3試合前に大道場に入る。各試合場は、試合進行状況を掲示板に示す。
8. ブロックごとに区分された観覧席の場所を遵守し、両隣の席を1つ空けて着席する。

《開会式・閉会式》

1. 入場行進は行わず、整列した状態から行う。退場の際も出入口に密集することがないように、係員の誘導に沿って退場させる。
2. 2mの間隔をあけて整列する。
3. 国歌は演奏のみ行い、斉唱は行わない。
4. 表彰時のメダル掛けは行わず、箱に入った状態のメダルを授与する。

《その他》

1. 指定場所以外での飲食は行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにする。また回し飲みはしない。
2. 昼食は、交代しながら摂るなど食事場所の密集を避けるようにする。
3. 会場は常に換気を行う。
4. 大会終了後は、指定の業者による校内の消毒を行う。
5. 大会等終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。
6. 試合・審判に係る事項、会場使用上の注意事項等は別に定め、審判・監督会議にて通知する。

《参加者に新型コロナウイルスの感染が疑われる場合の対応》

1. 参加者に 37.5℃以上の発熱等新型コロナウイルスの感染が疑われる場合は、日本武道館地下2F 控室東2に誘導する。控室東2において本大会の医療担当者（医師）が症状を確認し、必要と判断した場合は、「東京都発熱相談センター」または「東京都新型コロナウイルス感染症電話相談窓口」に連絡をして指示を受ける。

「東京都発熱相談センター」

03-5320-4592

「東京都新型コロナウイルス感染症電話相談窓口」

0570-550-571

2. 大会途中に前項の対応をされた参加者と同名チームに所属する者または同行者は、以後の入場はさせず、試合にも出場させない。

健康観察記録

【第 66 回 全日本銃剣道大会参加者用】

団体名 (チーム名)

役職等	選手	監督	チーム関係者	大会役員	競技役員	審判員
-----	----	----	--------	------	------	-----

※該当するものを○で囲む

ふりがな

氏名 年齢 才 (男・女)

住所

連絡のつく電話番号

月日	4月10日	4月11日	4月12日	4月13日	4月14日	4月15日	4月16日
測定時刻	時	時	時	時	時	時	時
体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
強いだるさ	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
息苦しさ	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
喉の痛み	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
咳	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
痰	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
味覚異常	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
臭覚異常	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
備考							

月日	4月17日	4月18日	4月19日	4月20日	4月21日	4月22日	4月23日
測定時刻	時	時	時	時	時	時	時
体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
強いだるさ	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
息苦しさ	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
喉の痛み	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
咳	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
痰	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
味覚異常	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
臭覚異常	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
備考							